

筑波大学附属病院看護部ニュースレター「リアンつくば」

リアンつくば

Lien Tsukuba

つくばニュース

精神神経科デイケア&認知症疾患医療センターが スタートしました。——「患者さんにとって必要なこと」をチームで実践中——

今年の4月から開始された精神科デイケアは、毎週月曜日から金曜日までB棟7階のデイケアルームにて実施しております。

月曜日と水曜日は、認知症の診断は受けていないが記憶障害がみられる軽度認知障害の方を対象とした『認知力アップデイケア』、火曜日と木曜日はうつ病などでお仕事を休まれている方が職場に戻る準備をするための『リワーク・プレリワークデイケア』と、不登校のお子さんを対象とした児童・思春期デイケア『つくばブルーム』、金曜日は摂食障害の方を対象とした『摂食障害デイケア』と『リワーク・プレリワークデイケア』を実施しています。医師、作業療法士、看護師、臨床心理士がチームとなり、協力して認知行動療法や疾患や障害の理解を促す学習の機会の提供、しっかり体を動かす運動や、頭の体操となるゲームなど様々なプログラムを実施しています。

認知症疾患医療センター(センター長:朝田 隆教授)もまた、B棟7階にて8月1日から本格稼働を始めました。当院のセンターは茨城県の基幹型センターであり、その主な役割は、医療専門相談(診断困難事例に対する地域型センターへの指導・助言など)、身体合併症のある認知症の方への急性期対応や早期診断、連携強化を図るための定期的な協議会の開催があります。地域ぐるみで認知症の方々を支えていけるよう、近隣の病院や自治体、ケアマネージャーさんをはじめとする



精神神経科デイケアのスタッフ



上: 植物との対話もプログラムの一環です

右: 創作活動を通じてケアを行います



様々な地域の福祉職の方々とも連携し、研修会や事例検討会などを通して地域全体で認知症を抱える方のケアの質を向上させていくことも当センターの機能となります。

看護師が電話相談、精神保健福祉士が地域連携を担当し、バックアップしていきます。

デイケアもセンターも動き始めたばかりですが、常に『患者さんに必要なことは何か?』を第一に考え、多職種チームで活動に取り組んでまいります。今後ともよろしく願いいたします。

※精神神経科デイケアは、精神科医師の治療計画の一環として実施しております。

※認知症疾患医療センターへのご相談は、029(853)3645まで。



認知症疾患医療センターのスタッフ

先端医療の現場から

当院が取り組むさまざまな治療についてお伝えしていきます。今回は「手術室」です。

楽屋がきれいな“手術劇場”

小田 竜也〔筑波大学・医学医療系・臨床医学域、外科学(消化器)分野 教授、筑波大学附属病院 手術部長〕

● 劇場を訪ねて

あるミュージカルを見て非常に感動したことがある。その後、楽屋を訪れる機会に恵まれ出演者に挨拶をしに行った。舞台裏の大掛かりな仕掛けも興味深かったが、すれ違う出演者や裏方の人たちが清々しく挨拶をしてくれることがとても新鮮な驚きであった。また、整然と並べられた大道具、小道具や、古びてはいるが清潔に保たれた劇場の廊下も、それはそれで十分に魅力的な鑑賞の対象であった。あの感動的なミュージカルはこの楽屋があつてのことだと妙に納得したものである。

手術室は Operating Theater と呼ばれる。无影灯に照らされた術野で、外科医、麻酔科医、看護師が丸となって患者さんの命に立ち向かう様は一見華やかで、劇場

で演じられるミュージカルに例えられることにも合点がいく。

● 一流の“楽屋”を目指して

まず思うことは、筑波大学で演じられる手術が十分に一流の art か？ということである。お客さんに見てもらった演劇とは、もちろん、目的も性質も異なるのは承知のうえだが、誰かが（例えば something great のような神様）がそっと天井から見て「フムフム、なかなかやるな」と感動してくれるだろうか。

そして続いて問うのは、筑波大の手術室の楽屋はきれいだろうか？ということである。MRI、透視装置、胸腹腔鏡、顕微鏡といった大道具や、ワゴンアップされた手術器材はそれだけで見る者を感動させる素敵な舞台道具として整然と整備されているだろうか？そして、それらを扱

う ME、放射線技師、薬剤師、TNP スタッフはすれ違う人と笑顔で挨拶ができる気分だろうか？

一流の手術が楽屋を明るくし、生き生きした楽屋が手術を一流にするという、切っても切れない関係を促進する前向きな提案を、筑波大学の手術室はすべて叶えるように努力していきたい。



手術編成会議：患者さんの安全を最優先に、麻酔科医、看護師、手術室、器材を隙間なく配置する作業は、山手線のダイアグラムのような複雑さです。

こんにちは！手術室看護師です。

新棟移転後、手術室は 12室から 16室に広がり、MRI手術室やハイブリット手術室などの最新の設備をもち、手術件数も増加しています。手術室看護師は、「安全」「安心」「温かい」「明るい」をビジョンにかかげ、「患者さんの安全は私達が守る」という強い信念をもち、質の高い看護の提供を目指しています。最高の医療の提供のためには、医師、放射線技師、臨床工学技士、検査技師など多くの職

手術室看護師の活動を紹介します。

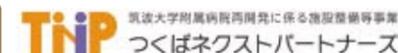
種が関わり、チームで取り組む必要があります。そのような手術室の中での調整役として、手術室看護師は重要な役割を果たしています。また、今年から術前外来に手術室看護師が関わるようになりました。術前から関わることによって、術中に必要な情報を収集し術中看護に役立てること、そして、患者さんの精神的な力になれたらと考えています。まだはじまったばかりで十分ではありませんが、今後多くの患者さんの

力になれるように、手術看護師全員で頑張っていきたいと思えます。〈手術室 看護師長：寺田えり子〉



手術室受付です。手術部職員とペンギンさんが患者さんをお迎えします

再開発プロジェクト ⑭



看護師・事業者職員に対する「患者接遇マナースキルアップ研修」を開催しました。

看護部とTNPの共催で、「患者接遇マナースキルアップ研修」を開催しました。6月12日、7月17日、8月6日の3回に分けて実施し、看護師や事業者職員等427名が参加しました。研修内容は、挨拶、身だしなみ、表情、態度、言葉遣い等の接遇マナーで、ロールプレイングも交えた実践的な研修でした。受講後のアンケート結果では、受講者の9割以上が、理解しやすく業務に役立つ研修だったと回答しています。今後も引き続き接遇マナーの向上を図り、患者さんやご家族により満足していただけるように励んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



外部講師を招いて各回100名以上が参加

■受講後アンケート集計結果

Q1:研修の内容を十分に理解できましたか？



Q2:研修の内容は業務に役立つものでしたか？



患者さん役と職員役でロールプレイング

カフェリアンのレシピ集



秋の夜長と

“一口芋ようかん”



晩夏、初秋、中秋という季節の言葉があります。吹く風の変化、朝夕の気温、虫の声、空に浮かぶ月の様子などでそれを感じるのですが、今年はそんな余裕もなく、非常な猛暑続きでした。しかし、暑い中でも、秋はスーパーやレストランからやってきます。特にレストランなどでは「秋の味覚」のメニューが並びます。そして、スーパーでも秋の食材が並び始めます。普段は忙しく、料理を手早く済ませていても、休日などには家の中でゆっくりと時間をかけて料理するのもまたいいものです。きのこをたっぷり入れた新米の炊き込みご飯、たっぷり野菜のお味噌汁とサンマの塩焼き。温かい香りが食卓に漂います。栗やサツマイモは大切な茨城の食材。サツマイモは、ふかし芋が定番ですが、そのふかし芋に一手間加えた「手作り芋ようかん」をご紹介します。病院給食でも提供していて、患者さんからも評判のいい一品です。〈病態栄養部〉

材 料(4人分)

サツマイモ300g(正味)、砂糖20g、塩0.4g(ひとつまみ)、粉寒天2g、水100cc

作 り 方

- ①サツマイモをふかして、熱いうちにつぶす。
- ②鍋に水と粉寒天入れて弱火にかけ、粉寒天を溶かす。さらに砂糖を加える。
- ③①のサツマイモと②とひとつまみの塩をよく合わせて、型に入れて冷ましてから冷蔵庫で冷やす。
*サツマイモは、裏ごしするとめづらしくなります。

お薬豆知識



副作用被害救済制度をご存じですか？

病院や薬局でもらった薬を正しく使用したにもかかわらず、副作用により重大な健康被害が起きた場合、給付金が受けられる制度があるのをご存知ですか。この制度は「医薬品副作用被害救済制度」と呼ばれ、国民保険の向上のために、厚生労働省所管の独立行政法人である「PMDA(ピー・エム・ディー・エイ:医薬品医療機器総合機構)」という機関が行っているもので、昭和55年5月1日以降に使用した薬の副作用による被害が対象です。給付には、健康被害の程度により次の7種類があります。

入院を必要とする治療を受けた場合	医療費
	医療手当
日常生活が著しく制限される障害が起きた場合	障害年金
	障害児養育年金
死亡した場合	遺族年金
	遺族一時金
	葬祭料

申請は、健康被害を受けた本人または遺族が直接PMDAに対して行います。医師の診断書や投薬証明書、受診証明書など決められた書類を添えて請求書を提出し、審査で認定されると給付金が支給される仕組みです。詳細や申請方法等はPMDAのホームページ(http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)またはPMDAの救済制度相談窓口(フリーダイヤル0120-149-931)で確認できます。〈薬剤部〉

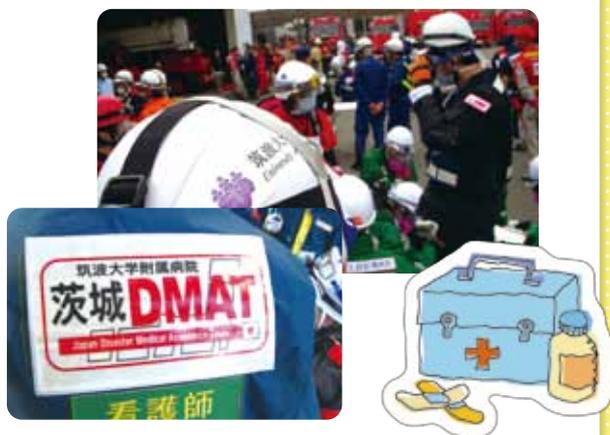
※対象とならないケースもあります。※本院では当制度に関するご質問や申請は受け付けておりません。

つくばの あんなこと、こんなこと

患者さんやご家族、地域の方々の「安心」を守る、心強いメンバーをご紹介します。
直接顔を会わせることは少ないですが、よろしくお願いします!

緊急災害医療チーム(DMAT)

大規模災害や大きな事故の時に派遣される、緊急災害医療チーム(DMAT)。当院も派遣病院に指定され、2チームを所有しています。先の震災にも出動しましたが、病院内での認知は今ひとつです。忍者みたいですね。出動がないことが一番ですが、日々訓練に励んでいます。



防災センター(ALSOK)

当院では、患者さんの安全と病院警備のため、24時間体制でALSOKの方が病院内外で警備しております。どんなときも笑顔と気持ちのよい挨拶と対応が私たちの心にも「安心」を与えています!



Information

看護師・助産師(経験者)募集

安定した環境でキャリアアップしたい方、早朝・夜勤のみなどライフスタイルに合わせて多様な働き方を希望される方、ぜひ一緒に働いてみませんか。

● 看護師・助産師 (経験者/常勤・非常勤)

勤務形態	常勤：3交代制勤務および変則2交代制勤務 非常勤：1日4時間以上・週4日以上できる方
職務内容	経験・希望に応じます。 (例) 病棟/外来/放射線部門 等
給与	常勤：当院規定による。*経験を考慮します。 非常勤：時給 1,100円~1,560円
待遇	研修制度充実、社会保険完備、 各種手当、有給休暇

お問い合わせ先 総務課看護職員募集担当

TEL. 029-853-3522/3514 FAX. 029-853-3904
E-mail. byouin-jinji@un.tsukuba.ac.jp

- 看護師・助産師(常勤)の詳細は看護部ホームページ www.s.hosp.tsukuba.ac.jp/kangobu をご覧ください。
- 病院見学をご希望の方はお電話またはメールにてご相談ください

リアン編集後記

編集メンバー
です!



みなさん、こんにちは!
わたしたちは筑波大学附属病院に勤務する看護師です。リアンを発行して2年が経ちます。多くの方々に、病院での取り組みやみなさんにとって何かの情報源となるようなニュースをお届けできればと思っております。今後ともよろしくお願いいたします!

- 看護師・助産師・看護助手応募先:
029-853-3514(総務課看護職員募集担当)
- ボランティア申し込み先:
029-853-3884(医事課)

「リアンつくば」は看護部ホームページからもダウンロードできます。
看護部ホームページ→www.s.hosp.tsukuba.ac.jp/kangobu

筑波大学附属病院 編集:リアンつくば編集部
看護部ニュースレター 発行:筑波大学附属病院看護部
「リアンつくば」No.15 2013年10月 発行日:2013年10月10日